

別紙1様式第1号（共通）（第3の1関係）

〇〇年度畜産生産力・生産体制強化対策事業実施計画書
（家畜能力等向上強化推進）

1 事業の種類

--

（注）要綱別表1の「事業内容」を記載すること。

2 事業の目的（変更理由）

--

3 事業実施方針

--

（注）事業実施に当たっての基本的な方針、業務推進体制等を記載すること。

4 総括表

事業内容	事業費	負担区分		備考
		国庫補助金	事業実施主体	
	円	円	円	

（注）事業内容欄は、要綱別表1の「事業内容」ごとに、実施する取組の内容を具体的に
記載すること。

5 取組により期待される効果（成果目標）

成果目標	検証方法	事業実施効果
現 状 値：（ 年度）		
目 標 値：（ 年度）		

（注）1 成果目標の欄は、定量的な指標を設定すること。

2 検証方法の欄は、目標値を具体的に検証する手法を記載すること。

6 事業実施予定期間

年 月 日 ～ 年 月 日

別添 1－①（乳用牛関係）

〇〇年度畜産生産力・生産体制強化対策事業実施計画書
（乳用牛のうち「遺伝子解析情報を活用した長命連産の乳用牛の改良推進」）

1 事業実施計画（又は実績）

（1）遺伝子解析情報を活用した長命連産の乳用牛の改良推進計画（又は実績）

評価方法	評価頭数	選抜基準	選抜頭数	備考

（2）乳用牛改良に必要なデータの収集計画（又は実績）

① 乳用牛改良に必要な繁殖性・飼料給与量等の生産性データの収集計画（又は実績）

方法	内容	積算根拠	事業費	補助金	備考
合計					

（注） 積算根拠は、旅費規程等可能な限り定められた単価を用いて記述すること。

② 乳用牛改良に必要な体型調査の実施計画（又は実績）

調査方法	調査内容	調査頭数	調査時期	備考

（注） 各県ごとの調査計画頭数（又は実績）を添付すること。

（3）能力評価の実施計画（又は実績）

集計、情報提供項目	集計、情報提供内容	備考

別添 1－②（乳用牛関係）

〇〇年度畜産生産力・生産体制強化対策事業実施計画書
（乳用牛のうち「多様な育種素材の評価活用対策」）

1. 優良遺伝資源活用推進会議の開催計画（又は実績）（単位：円）

回数	開催時期	場所	参集人数	内容	積算根拠	事業費	補助金	備考
合 計								

（注）積算根拠は、旅費規程等可能な限り定められた単価を用いて記述すること。

2. 優良受精卵等の導入計画（又は実績）

（1）優良受精卵の導入（単位：円）

方法	内容	個数	導入の理由	導入の効果	積算根拠	事業費	補助金	備考
合 計								

（注）1 積算根拠は、受精卵の個数、納入単価、消費税を供卵牛 1 頭ごとに個体識別番号（輸入受精卵であつては登録番号）とともに記述すること。

2 事業費は、受精卵の納入価格、消費税の合計額を記載すること。

3 補助金は、受精卵 1 個当たりの納入価格の 1 / 2 と 50,000 円のいずれか低い額を記載すること。

4 備考欄に、供卵牛の品種、交配種雄牛の品種及び略号を記載すること。

（2）性選別優良受精卵の導入（単位：円）

方法	内容	個数	導入の理由	導入の効果	積算根拠	事業費	補助金	備考
合 計								

（注）1 積算根拠は、受精卵の個数、納入単価、消費税を供卵牛 1 頭ごとに個体識別番号（輸入受精卵であつては登録番号）とともに記述すること。

2 事業費は、受精卵の納入価格、消費税の合計額を記載すること。

3 補助金は、受精卵 1 個当たりの納入価格の 1 / 2 と 65,000 円のいずれか低い額を記載すること。

4 備考欄に、供卵牛の品種、交配種雄牛の品種及び略号を記載すること。

3. その他

(1) みどりのチェックシートの実践

- ・ 全ての本事業の受益者から「みどりのチェックシート（畜産）」を徴収し、その内容を確認した場合は、右の□に✓を記入

☐

(2) 厚生年金及び健康保険への加入状況

- ・ 本事業の受益者の加入状況について確認した場合は、右の□に✓を記入（法人のみ）

☐

(3) 配合飼料価格安定制度への加入状況

- ・ 全ての本事業の受益者の加入状況について確認した場合は、右の□に✓を記入

☐

※3の（1）～（3）は、実績報告書の提出時のみ記入すること。

※3の（2）は、受益者に法人がない場合は削除すること。

別添1－③（肉用牛関係）

〇〇年度畜産生産力・生産体制強化対策事業実施計画書
（肉用牛のうち「地域固有系統の再構築等支援対策」）

1 近交係数上昇抑制改良手法の検討

（1）検討委員会の開催計画（又は実績）

時期	場所	内容	備 考

（2）サンプルの採材・解析の計画（又は実績）

時期	項目	方法	内容	備 考

（3）解析システムの開発・整備計画（又は実績）

時期	区分	内容	備 考

2 地域固有系統の再構築支援

（1）地域検討会等の開催計画（又は実績）

時期	場所	内容	備考

（2）系統分類手法確立・活用手法の実施計画（又は実績）

時期	項目	方法	内容	備考

別添 1－④（肉用牛関係）

〇〇年度畜産生産力・生産体制強化対策事業実施計画書
（肉用牛のうち「多様な種雄牛の活用促進対策（希少系統種雄牛産子肥育奨励金）」）

1 希少系統種雄牛産子肥育素牛の導入計画（又は実績）

時期	父牛名号	性別	頭数	奨励金額	備考
合計					

（注） 1 奨励金額は、20 千円／頭以内とすること。

2 事業実施主体は、肥育牛を導入する者が、実施要領別紙 1－2 の第 2 の 3 の（1）の②の協力肥育農家であることを確認すること。

2 出荷予定年月

年 月 ～ 年 月

3 その他

（1）環境負荷低減に向けた取組強化

- 全ての奨励金交付対象牛の所有者から「みどりのチェックシート（畜産）」又は「環境負荷軽減のクロスコンプライアンス チェックシート」を徴収し、その内容を確認した場合は、右の□に✓を記入

☐

（2）厚生年金及び健康保険への加入状況

- 全ての奨励金交付対象牛の所有者の加入状況について確認した場合は、右の□に✓を記入（法人のみ）

☐

（3）配合飼料価格安定制度への加入状況

- 全ての奨励金交付対象牛の所有者の加入状況について確認した場合は、右の□に✓を記入

☐

※ 3 の（1）から（3）は、実績報告書の提出時のみ記入すること。※ 3 の（2）は、受益者に法人がない場合は削除すること。

4 添付資料

※ 実施要領別紙 1－2 の第 1 の 2 の (1) の②により選抜された種雄牛である場合は、選抜理由を証明する書類を添付すること。

(注) 「達成状況報告書」(別記様式 1 号)を提出する際は、本様式(実績)に加え、添付資料として、

- ① 肥育素牛の飼養者のリスト(肥育者名称及び肥育者コード、所在地、備考を記した一覧)
- ② ①の肥育者毎の導入牛リスト(種雄牛名号、個体識別番号、生年月日、性別、導入年月日、備考を記した一覧)
- ③ 導入牛の子牛登記書の写しを添付すること。

別添 1－⑤（肉用牛関係）

〇〇年度畜産生産力・生産体制強化対策事業実施計画書
（肉用牛のうち「多様な改良情報の収集・分析等対策（産肉情報基盤の強化・活用）」）

1 検討委員会の開催計画（又は実績）

時期	場所	参集範囲	内容	備考

2 産肉情報基盤強化・活用事業の実施計画（又は実績）

（1）枝肉格付情報の収集・分析計画（又は実績）

時期	項目	方法	内容	備考

（2）血統情報の収集・分析計画（又は実績）

時期	項目	方法	内容	備考

（3）産肉情報にかかるシステムの開発・整備計画（又は実績）

時期	区分	内容	備考

別添 1－⑥（肉用牛関係）

〇〇年度畜産生産力・生産体制強化対策事業実施計画書
 （肉用牛のうち「多様な改良情報の収集・分析等対策（新たな改良形質の検討・評価）」）

1 検討委員会の開催計画（又は実績）

時期	場所	参集範囲	内容	備考

2 新たな改良形質測定機器の導入（又は実績）

時期	導入機器	取組内容	備 考

3 サンプルの採材・解析の計画（又は実績）

時期	項目	方法	内容	備 考

4 システムの開発・整備計画（又は実績）

時期	区分	内容	備 考

別添 1－⑦（肉用牛関係）

〇〇年度畜産生産力・生産体制強化対策事業実施計画書
（肉用牛のうち「多様な改良情報の収集・分析等対策（肥育牛の出荷時期早期化対策）」）

1 生体肉質診断機器の導入計画（又は実績）

時期	導入機器	取組内容	備考

2 機器活用マニュアルの策定計画（又は実績）

時期	場所	参集範囲	取組内容	備考

（注）マニュアル策定にあたり必要となる検討委員会、現地検討会、普及活動等の実施計画（又は実績）を記載すること。

3 技術研修会の開催計画（又は実績）

回数	時期	場所	研修対象者 及び人数	取組内容	備考

別添 1－⑧（豚関係）

〇〇年度畜産生産力・生産体制強化対策事業実施計画書
（豚のうち「遺伝子検査等の推進」）

1 事業実施主体名、代表者、連絡先（電話番号、住所等）

2 事業実施主体の概要

構成員数：（ ）人

子取り用雌豚の総飼養頭数：（ ）頭

前年度出荷総頭数（実績）：（ ）頭

3 事業参加者の概要

事業参加者名	住 所	飼 養 状 況			前年度純粋種豚	
		品 種	純粋種豚 (頭)		出荷頭数 (実績) (頭)	
			雄	雌	雄	雌
計 (人)						

（注） 1 「事業参加者名」欄には、農業協同組合、農業協同組合連合会、中小企業等協同組合法（昭和 24 年法律第 181 号）に基づく事業協同組合、公社（地方公共団体等が構成する法人をいう。）並びに畜産業の振興に資する事業を行う一般社団法人、一般財団法人、公益社団法人及び公益財団法人にあっては、検査実施者を記載すること。

2 「純粋種豚」のうち「雄」は、生後 10 カ月以上で、種付けを目的として飼養している純粋種雄豚とする。

3 「純粋種豚」のうち「雌」は、生後 6 カ月以上で、子豚を生産することを目的として飼養している純粋種雌豚とする。

4 一構成員が複数品種を飼養する場合は、品種ごとに記入すること。

4 SNP 検査等の計画（又は実績）

構成 員名	費用項目	検査等の 対象形質	員数	事業費 （円）	備考	
					補助金	自己負担額
計 （ 人）						

（注） 1 「備考」欄には、実績報告の際は、費用項目ごとに検査等に当たった者又は組織名を記載すること。

2 構成員ごとに記入すること。

- 3 実績報告書の提出時には、指定交配に使用した導入精液の精液証明書、人工授精に使用された日が分かる書類等の写し（人工授精記録台帳の写し等）、指定交配により得られた産子の一般社団法人日本養豚協会が発行する子豚登記証明書又は種豚登録証明書の写しを添付すること。

5 SNP 検査の活用計画（又は実績）

現在の課題	本事業成果の活用方針

（注）豚改良に係る現状の課題とそれに対して本事業でどのように取り組み、具体的な対策を講じるか課題別に記入すること。

6 遺伝子検査等の推進に係る検討会の開催

（１）検討会名、担当者、連絡先（電話番号、住所等）

（２）検討会の目的、検討事項

（３）検討会の開催計画（又は実績）

開催時期	場 所	検討事項等	備考

（注）「検討事項等」の欄には、検討、調整が必要な事項等を具体的に記載すること。

7 添付資料

別添1－⑨（豚関係）

〇〇年度度畜産生産力・生産体制強化対策事業実施計画書
（豚のうち「産肉能力の改良推進」）

1 事業実施主体名、代表者、連絡先（電話番号、住所等）

2 事業実施主体の概要

構成員数：（ ）人

子取り用雌豚の総飼養頭数：（ ）頭

前年度出荷総頭数（実績）：（ ）頭

3 検討委員会名、担当者、連絡先（電話番号、住所等）

4 検討委員会の目的、検討事項

5 検討委員会の開催計画（又は実績）

開催時期	場 所	検討事項等	備考

（注）「検討事項等」の欄には、検討、調整が必要な事項等を具体的に記載すること。

6 産肉能力データ測定機器の導入計画（又は実績）

導入構成員名	導入機器	導入数 （台）	事業費			備考
			（円）	補助金	自己負担額	
	計 （ 人）					

（注）一導入構成員が産肉能力データ測定機器の複数台導入を予定している場合、その理由を「備考」欄に記載すること。

7. その他

（1）環境負荷低減に向けた取組強化

- ・本事業の受益者から「みどりのチェックシート（畜産）」又は「環境負荷軽減のクロスコンプライアンス チェックシート」を徴収し、その内容を確認した場合は、右の□に✓を記入

☐

（2）厚生年金及び健康保険への加入状況

☐

- ・ 本事業の受益者の加入状況について確認した場合は、右の□に✓を記入（法人のみ）

（３） 配合飼料価格安定制度への加入状況

- ・ 本事業の受益者の加入状況について確認した場合は、右の□に✓を記入

☐

※ ７の（１）～（３）は、実績報告書の提出時のみ記入すること。

※ ７の（２）は、受益者に法人がない場合は削除すること。

８ 添付資料

別添 1－⑩（鶏関係）

〇〇年度畜産生産力・生産体制強化対策事業実施計画書
 （鶏のうち「始原生殖細胞（PGCs）の凍結保存等技術の習得及び普及」）

1 事業実施主体名、代表者、連絡先（住所、電話番号等）

2 事業実施主体の概要

事務局代表者：

会計責任者：

（協議会の場合のみ）構成する組織、団体、共同機関名：

3 技術者養成研修会及びセミナー開催計画

	開催時期	場 所	成果目標の具体的な内容	備考
技術者養成 研修会				
セミナー				

（注）「成果目標の具体的な内容」の欄には、検討、調整が必要な事項等を具体的に記載すること。

4 技術者養成研修会のための機材等導入計画

品名	導入数 (台)	事業費 (円)	備考
計			

5 添付資料（添付しない書類名は削除すること）

定款、寄付行為等主に営む事業内容が確認できる書類及び収支予算（又は収支決算）

別添 1－⑪（鶏関係）

〇〇年度畜産生産力・生産体制強化対策事業実施計画書
（鶏のうち「始原生殖細胞（PGCs）の凍結保存等技術を導入及び推進する取組」）

1 事業実施主体名、代表者、連絡先（住所、電話番号等）

2 事業実施主体の概要

事務局代表者：

会計責任者：

（協議会の場合のみ）構成する組織、団体、共同機関名：

3 成果目標の具体的な内容

--

（注） 1 一事業参加者が複数品種で始原生殖細胞（PGCs）を活用する場合は、品種ごとに記入すること。

2 実施要領別紙 1－4 の第 1 の（2）の事業のセミナーに参加し、本事業に参加していない者に対して技術普及する活動を記載すること。

4 始原生殖細胞（PGCs）の適切な管理計画

現状	本事業実施後

（注）一事業参加者が複数品種で始原生殖細胞（PGCs）を導入する場合は、品種ごとに記入すること。

5 始原生殖細胞（PGCs）凍結保存システム導入計画

品名	個数	単価 （円）	事業費 （円）	補助金	自己負担額
計					

6 鶏改良推進計画

現状の課題	本事業での具体化策

（注）事業参加者における鶏改良及び生産体制に係る現状の課題と、本事業に取り組むことになる具体的な対策の方向性について記入すること。

7 添付資料（添付しない書類名は削除すること）

定款、寄付行為等主に営む事業内容が確認できる書類及び収支予算（又は収支決算）